

地震の伝わり方と地球内部の働き(2)

【1】次の文章は、地震の起こるしくみについて説明したものである。

() に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 地震によって大地がもち上がることを (①) といい、沈むことを (②) という。
- (2) 地震が海底で起こった場合、海岸で (③) という災害が発生することがある。
- (3) 海底で溝のように深くなったところを、 (④) という。
- (4) 日本列島と太平洋側にある海溝の間には、震源が (⑤ 少ない・集中している)。
- (5) 日本付近の震源の深さは、太平洋側で (⑥ 浅・深) く、日本列島の下に向かって (⑦ 浅・深) くなっている。
- このほか、日本列島の地下では震源の浅い地震も起きている。

【2】次の文章は、プレート内地震のしくみについて説明したものである。

() に当てはまる言葉を書きなさい。

- (1) 地球の表面は、 (①) とよばれる十数枚の、厚さ約100kmの岩盤でおおわれている。
- (2) 日本列島付近には (②) 枚のプレートが集まっている。
- (3) それぞれのプレートは、たがいに、決まった方向に少しずつ動いているため、プレートの境目周辺には常に力が加わり続け、岩盤は徐々に変形して (③) がたまる。
- (4) 岩盤の強さが (③) に耐えられなくなると、破壊されて (④) が生じると同時に、地震が起こる。
- (5) プレート内の地下の浅いところで大地震が起こると、地表には断層がその傷あととして残ることがある。この断層のうち、特に数十万年前以降に繰り返し活動し、将来も活動すると考えられる断層のことを (⑤) とよぶ。

【3】次の文章は、プレート境界型地震のしくみについて説明したものである。

() に当てはまる言葉を書きなさい。

- (1) 日本列島の下では、太平洋のほうから動いてきた (①) プレートが、 (②) プレートの下にもぐりこむ。
- (2) (1) により、 (③) プレートが (④) プレートに引きずりこまれ、 (⑤) プレートがひずむ。
- (3) (2) のひずみにプレートが耐えられなくなると、 (⑥) プレートの先端部が元にもどろうとして急激に (⑦) し、プレートの境界を震源とする大きな地震が起こる。